

雇用情勢

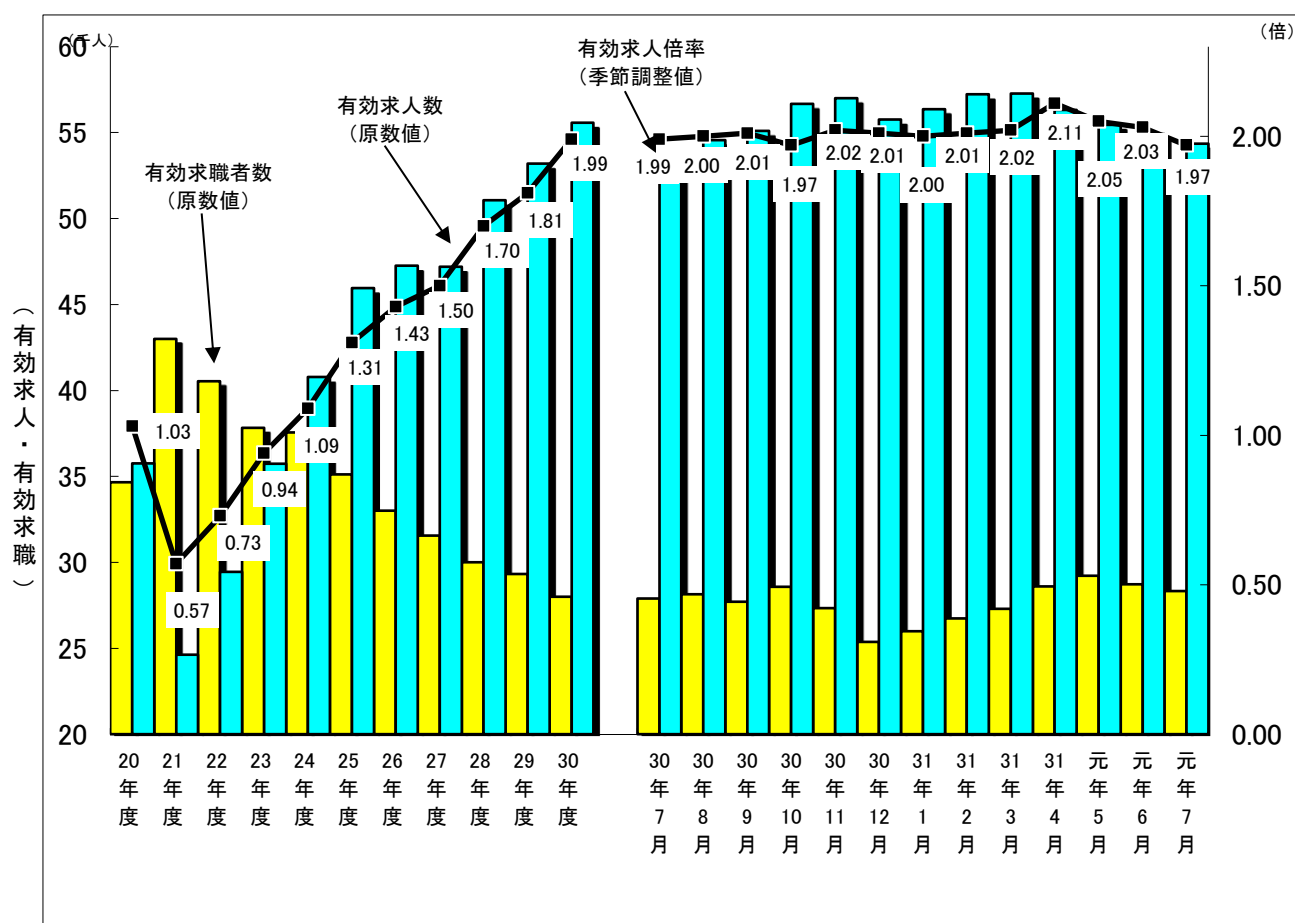
・雇用情勢のポイント — 7月の岡山県は 1.97倍です。 —

令和元年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.97倍となり、前月に比べ0.06ポイント低下。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は1.2%減少し、有効求職者数(季節調整値)は2.0%増加した。また、新規求人数(季節調整値)は4.0%減少し、新規求職者数(季節調整値)は2.0%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、製造業(4.2%減)、宿泊業・飲食サービス業(15.2%減)で減少したものの、建設業(7.4%増)、運輸・郵便業(0.5%増)、卸売・小売業(19.6%増)、医療福祉業(6.2%増)、サービス業(他に分類されないもの)(26.9%増)で増加したことから、全体では対前年同月比6.0%増と3ヶ月ぶりに増加した。新規求職者数(原数値)は、前年同月比で12.0%増となり、23ヶ月ぶりに増加した。

このような状況から、「県内の雇用情勢は、着実に改善が進む中、求人が求職を大幅に上回って推移している」と判断した。



	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
有効求職者数	34,660	42,981	40,516	37,816	37,541	35,103	32,995	31,551	30,004	29,312	27,975
有効求人数	35,757	24,615	29,438	35,720	40,775	45,952	47,252	47,190	51,044	53,176	55,559
有効求人倍率	1.03	0.57	0.73	0.94	1.09	1.31	1.43	1.50	1.70	1.81	1.99

30年7月	30年8月	30年9月	30年10月	30年11月	30年12月	31年1月	31年2月	31年3月	31年4月	元年5月	元年6月	元年7月
27,894	28,145	27,693	28,564	27,323	25,376	25,985	26,723	27,282	28,602	29,204	28,713	28,322
53,553	54,550	55,076	56,657	56,981	55,749	56,354	57,216	57,263	56,297	55,446	54,891	54,352
1.99	2.00	2.01	1.97	2.02	2.01	2.00	2.01	2.02	2.11	2.05	2.03	1.97

*月別の有効求職者数、有効求人数は原数値、有効求人倍率は季節調整値を計上。

・平成30年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。

・季節調整は「センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)」を使用している。